

決 議

北陸新幹線は、わが国の高速交通体系の柱として、日本海国土軸の形成や国土の均衡ある発展、さらに温室効果ガスの排出量削減など地球環境時代に大きく貢献するとともに、沿線地域の飛躍的な発展を図る上で大きな効果をもたらす国家プロジェクトである。

県内における北陸新幹線の整備については、福井駅部が昨年二月に完成し、現在、整備新幹線の未着工区間については、本年夏までに結論を出すよう検討がなされているところである。

については、沿線住民の長年にわたる切実な悲願である北陸新幹線の日も早い認可・着工が実現されるよう、次の事項を強く要望する。

記

- 一 白山総合車両基地から敦賀間について、平成二十二年夏までのできる限り早い時期に認可決定し、早期着工を図ること。
- 一 公共事業費の重点配分などにより、積極的な事業推進が可能となるよう、建設財源の確保を図るとともに、地方負担については適切な財源措置を講じること。
- 一 芦原温泉駅部の調査等について、地元のまちづくり計画と整合性を図るため、着実に推進すること

以上決議する。

平成二十二年五月二十八日

北陸新幹線芦原温泉駅建設促進同盟会